

日秘友好の日記念国会式典における大使スピーチ

2017年4月3日

御出席の皆様

28年前の今日、日本とペルーの歴史に新たな1ページが刻まれました。我々が今いるこのペルー共和国国会において、「日秘友好の日」が制定されました。それから日本とペルーは、手に手を取って、良い時も、困難な時も、お互い助け合い、共に歩んで参りました。今年もこの記念すべき日を、ミヤシロ議連会長をはじめとする新たな議連の皆様と共に迎えることができ大変喜ばしく存じます。

現在ペルーは海岸性エル・ニーニョ現象の発生により、大規模な災害に見舞われております。犠牲者の方々の御冥福をお祈りするとともに、被災者の方々に心より御見舞いを申し上げます。日本政府は、ペルーとの長きにわたる友好関係にもかんがみ、3月28日、ペルー国政府に対し、約15万ドル相当の緊急援助物資をJICAを通じて供与しました。具体的には、発電機、浄水器およびテントなどがあります。ペルーの皆様が一日も早く現在の厳しい状況を脱する一助となれば幸いです。今後は、災害からの復旧、復興に向けての動きが加速されるものと思います。日本は、ペルー政府とともに、ペルー中央の沿岸部の3つの河川流域を対象に、河川改修等の洪水対策を実施しています。また、日本とペルーの間には災害復旧スタンドバイ借款の取り決めがあります。ペルー政府から要請があれば、迅速な貸付により災害復旧も支援します。さらに、ペルー全土159流域にわたり洪水被害が発生しやすいかどうか、対策をとる場合に必要な予算額などの調査を行っています。遅くとも5月には調査結果を発表します。今後のペルーでの政策決定に資することを期待しています。この調査結果も活用し、今後の洪水対策、災害対応について、引き続き日本の支援を継続してまいります。

6年前の東日本大震災の際にペルー国民の皆様が示して下さった支援、そして連帯のお気持ちは、我々日本国民にとって大きな励みとなりました。そして、今度は我々の番です。日本は皆様ペルーの人々と共にあります。

「日秘友好の日」は、両国の長い友好の歴史と日系人の方々のご活躍を基に制定されました。ミヤシロ議連会長はじめ多くの日系の方々が誠実、勤勉など多くの日本的な美德を実践してこられたことで、ペルー国内における日本に対

する理解と尊敬は深まりました。ミヤシロ議員を会長として、党派を超えて44名の議員が参加する友好議連が設立されたことを嬉しく感じます。議連の皆様とともに両国関係深化のため尽力して参りますので、御協力賜れば幸いです。

本年も、重要な行事が予定されています。本年は、ペルー日系人協会設立100周年、日秘文化会館設立50周年、そして「神内センター」開設25周年という記念すべき年であります。また、2019年は両国の交流年として、様々なイベントを両国において展開していくこととなります。この「日秘友好の日」の機会に、改めてペルーにおける日系人のあゆみを振り返り、そして両国の関係をより一層強化する力につなげていくことができればと思います。

ペルー万歳、日本万歳！ 「日秘友好の日」万歳！